

令和3年6月20日発行 (第58号)

岩谷医院

院長 岩谷 文夫 (心臓血管外科名誉専門医)
副院長 岩谷 恭子 (循環器専門医、内科認定医、産業医)
ホームページアドレス <http://iwaya-clinic.com>

新型コロナウイルスのワクチン接種始まる

政府は5月28日に新型コロナウイルス対策として東京、大阪など9都道府県に出されてきた緊急事態宣言を6月20日まで延長することに決めました。延長されるのは北海道、東京、愛知、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、福岡。そして宣言に準じる「蔓延防止等重点措置」についても、埼玉、千葉、神奈川、岐阜、三重の5県への適応期限を5月末から6月20日に延長しました。

ワクチン接種も始まり感染者数は徐々に減っていますが、いまだ予断を許さない現状です。このような全国の動きの中で、福島県では県内全域に5月15日に発令していた「非常事態宣言」を感染者数の減少傾向や病床使用率の減少などを理由に、5月31日に解除しました。しかし変異株の感染なども報告されていますので、解除後も気を緩めず、今まで通りの感染対策を続けることが重要です。

新型コロナウイルス接種に関して、福島市では、5月10日より受付が開始され、5月24日に個別接種が始まりました。電話及び、スマホやパソコンでの先着順による予約システムの為、電話が繋がらない、予約枠がすぐ埋まってしまったなどの苦情が相次ぎました。私たち医療スタッフは優先摂取で受けさせていただき、医師2人は5月18日に、スタッフ4人は5月28日に2回目の接種を終了することが出来ました。接種後の副作用

に関して医師は2人とほとんど見られず、スタッフの一部に2回目接種時の痛みや腫脹が1回目より強く出たり、1回目にはなかった頭痛がありました。しかし、いずれも数日で軽快しました。

岩谷医院でのワクチン接種は6月8日に開始いたしました。火曜日と水曜日の午後予約枠を設け、オンラインシステムでの予約は福島市がまとめて受け付けておりますが、岩谷医院の予約枠が少ないため、8月末まですぐにいっぱいになってしまいました。その後水曜日の午前にも予約枠を増やしましたが、絶対数が少ないため、通院されている多くの患者さんが予約をとれなかったこととお詫び申し上げます。ワクチンは出来るだけ早く接種した方が良く、集団接種なども含め、出来る所、なるべく早く接種していただきたいと考えております。

東京オリンピック、パラリンピックはどうなるのでしょうか？ コロナ禍で国のメンツをかけた大会の強硬開催には賛否両論があるのは当然です。『平和の祭典、オリンピック!!』。歴史が証明してくれるでしょう。



医院からのお知らせ



【令和3年の市民検診について】

市政だよりでもご存知のとおり、今年も6月より各種がん検診と特定検診(メタボ検診)が始まりました。

【令和3年6月1日(火)~10月30日(土)】

特定健診・後期高齢者健診の内容については前年度とほぼ変わりません。

ですが、今年も新型コロナウイルス感染状況により集団検診は行われません。個別健診のみとなりますのでご希望の方は混雑を避ける為、お早めに予約されることをお勧めします。

当院に定期的に通院し薬を服用されている患者さんに対しては、6か月に1度は少なくとも一通りの血液検査を行い検査結果の説明・指導を行っておりますので、特定健診用の血液検査は必要ないかと考えておりますが、**各種がん検診**については、ぜひ受けていただきたいので、**当該の方は届いている受診券を持参し受付にお申し出下さい。**

当院では大腸がん・肺がん・前立腺がん・肝炎ウイルス検診に加え、今年から骨粗鬆症検診が出来るようになりました。(骨粗鬆症検診は手のレントゲンを撮るだけですので対象の女性の方は是非受けていただければと思います。)

なお、検診については混雑をさける為にも完全予約制となっております。**受診券・保険証の確認と前もって問診票の記入も必要**となりますので、お早めに受付にお申し出下さい。

なにかご不明な点がありましたら、お気軽に受付にご相談下さい。

【※新型コロナの感染状況により実施期間に変動が生じる場合があります。また、10月検診末月になると検診予約が出来ない場合もありますのでお早めに相談・ご予約をお取りいただくようお願い致します。】

患者さんのコーナー

【盆栽コレクション】 福島市矢剣町 Mさん

*最近のMさんは膝が悪く、歩くのも大変そうですが、患者さんが少しでも笑顔になれるならと続けていただいています。(院長)



コウバイ オウバイ



コケモモカマツカ コトネアスター



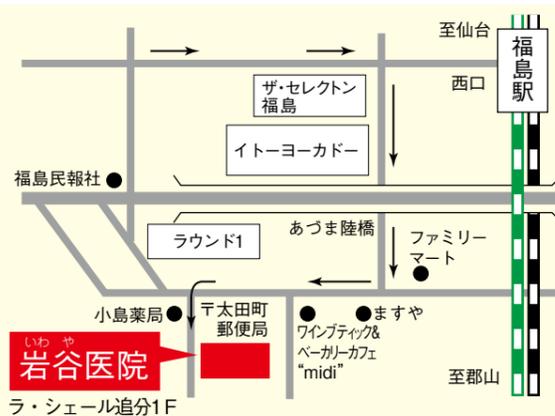
ナバラ ゴヨウマツ



サクラ三品

あとがき

新型コロナワクチン接種が日本中ではじまり、感染対策としては攻めの姿勢にはいりましたが、社会及び日常生活がコロナ前に戻るまでにはまだ時間がかかりそうです。そんな中、岩谷医院は開業20年目を迎えました。年に3回発行していた会報「ゆきうさぎ」も「58号」となりました。20年を節目と考え、「ゆきうさぎ」は来年発行の【60号】で最終号とすることにいたしました。「ゆきうさぎ」は岩谷医院そして私にとっても多くの思い出が詰まっている宝物です。最終の60号は出来れば皆様の『寄せ書き』で紙面を作り、宝物を包もうと考えております。一行でも、二行でも、何でも結構ですので、「ゆきうさぎ」にお寄せいただければこれ以上嬉しいことはありません。川柳箱のそばに一筆箋を置きますのでご利用ください。よろしく願いいたします。(院長)



【福島駅西口より 徒歩7分】
〒960-8068 福島市太田町17-27ラ・シェール追分1F
でんわ 024-528-7770 / FAX 024-528-7780

★診療時間(予約の方が優先されます)
平日(木曜日を除く)は 午前9時~12時 午後2時~5時30分
土曜日は 午前9時~午後2時(昼休みなしで診療いたします)
休診日は 日曜日・祝祭日・木曜日
★診療項目
内科疾患・循環器疾患・動静脈疾患・先天性心疾患・人工弁管理・ペースメーカー管理・人工血管管理・基本検診・健康スポーツメディカルチェック など

院長より一言

新型コロナワクチンについて

現在日本のワクチン接種では大部分がファイザー社製の「コミナティ」が使われています。メッセンジャーRNA (mRNA) という種類のワクチンで、ウイルスのたんぱく質を作るもとなる情報の一部を注射することにより、ウイルスのたんぱく質の一部が作られ、それに対する抗体ができることで、ウイルスに対する抗体ができます。実際のウイルスは使ってないので、ワクチン接種による感染はないとのこと。接種は筋肉注射で、3週間の間隔で2回行います。2回目も必ず同じワクチンを接種します。2回目の接種から7日目以降におけるワクチンの発症予防効果は約95.0%でした。16歳以上が接種の対象になり、希望者は無料で接種できます。副作用として、受けた人の10%以上に起こった症状としては、ワクチン接種後に注射した部位の痛みや腫れ、下痢、筋肉痛や関節痛、頭痛、発熱、倦怠感などがあります。1回目より2回目の接種後に多く見られますが、これらの症状は数日で治まることが多いようです。尚、他のワクチンを接種する場合の接種間隔は2週間あけることになっていますのでご注意ください。

日本で使用されているワクチンとしては他にもあります。武田薬品が日本での臨床試験を行った、アメリカ、「モデルナ社製のワクチン」です。これもメッセンジャーRNAワクチンです。有効率は約94%です。18才以上が適応になります。接種は筋肉注射で回数は同様に2回、4週間後に2回目の接種を行います。副作用も「コミナティ」とほぼ同様で、やはり2回目の接種後に強く出るようです。諸外国の状況を見てもワクチンが感染者減少の大きな切り札になっているようです。期待したいですね。



川柳箱より(短歌、俳句、川柳、詩など)

蒲倉琴子さん(福島市松川町)

俳句

読み止しの本と薄暑の内にをり
吹き降りに傘の撓みや落とし文
阿武隈川の卵波の白をまぶしめり
令和2年第22回隠岐後鳥羽院大賞入選句
春雷の大きくなりし陵墓かな
*蒲倉さんからは日本語の美しさ、奥深さを学ばせてもらっています。いやあー勉強になりますね。(院長)

川柳
亀岡さだおさん(福島市天神町)

米寿越え卒寿がよりそう夫婦駒
関節炎正座も出来ず口達者
昔の人コロリ観音信仰心
物忘れ認知症とは違うと力拳
子と同居老いては子に従え諺を
*亀岡さんからは今回も作品をいただきました。本当にありがとうございます。(院長)

川柳
一介老人さん(福島市小倉寺)

クラスター施設・病院狙い撃ち
ワクチンが自前で出来ぬ日本国
お役人一流企業とワインのみ
町長さん土建業者を優遇し

高齢者IT用語にまごまごし
効き目には個人差ありと注が付き
プレートが現代版の大ナマス
受験期は悲喜こもこもの親兄弟

ワクチンよ君が頼りの命綱
森さんは本音がポロリ四面楚歌
熱ないと総理の口調なじられる
国軍が市民守らず弾圧す
死を招く薬売るとはとんでもない
海底のケールつないだ勇者たち
会食費わたしは5千あの人7万
宝くじ億で引き寄せ百で撫で
間に合うか電気自動車買おう貯金
藤井2冠天賦の道で大成を

手強いぞ新型コロナ七変化
食と旅軒並み赤字火の車
バンデミック命と仕事脅かす
ご苦労さま旅館ホテルが医事施設
三越のライオンまでもマスク掛け
ありがたしお医者看護師命がけ
テレワーク親が子供に教えられ
テレワーク友だち沢山できるかな
オーマイガツ米コロナ死者40万
バイデン氏全米ワクチン大作戦
*世相を反映した一介老人さんの作品では、ニュースのテレビ映像シーンのいくつかが浮かんできます。(院長)

自分の痛みを輝きに変える

患者さんからの寄稿

福島市 すずちゃん

貝は自分の体に入ってきた砂などの異物を分泌物でコーティングし、長い年月をかけて真珠を作ります。作りたくて作っているわけではなく、異物の痛みを何とかしようとして自分自身で包んで、包んでそれを持ったまま生きていこうとします。捨てるのではなく、忘れたふりをするわけでもなく、自分の痛みを抱えて生きる。それもピカピカの宝石に変えて…

この文章はわたしの娘が失恋して、結婚の夢破れて、泣いていた時に私が彼女に送ったメールです。母としてその時に娘にかけてあげられる精一杯の言葉でした。いつまでも愛しい私の宝物、自信をもって幸せになってほしい。

*何と素敵なそして愛情あふれる文章でしようか。読んでいてこちらまでジーンときてしまいました。こんなにも優しいお母さんに見守られている娘さん。幸せですね。(院長)



ガーデンK&F花だより

コロナ禍でも庭に咲く花達は私達の心をなごませてくれています。でも、今年は何となく皆元気がないかなあ。

4月



5月



6月

